



開基120年記念特集

No.3

「北緯45度の大地に生きる動物たち」

撮影・文：富士元 寿彦氏

「大漁 巣へと向かうオジロワシ」



天塩川とサロベツ川の合流地付近を、歩いていた時のことです。捕まえたサクラマスを持って、オジロワシ（国の天然記念物）が飛んで来ました。向かった先は、音類（浜里）の砂丘林にある巣です。

夫婦は、巣でヒナの世話と留守番役、狩りと餌運び役を交代で行います。5月初めに孵化したヒナは、

1ヶ月ほど経ったので、カラスくらいの大きさになっています。ヒナが巣立つのは来月ですが、子育ては夏が終わるまで続きます。

わが家のエンジェル



卯子澤 楓花ちゃん
（平成29年9月12日生・中間寒）
お父さん 翔太さん
お母さん 由姫さん
待望の第三子、楓花です。毎日、大好きなお姉ちゃんを追いかけて、ハイハイの練習を頑張っています。たくさん食べて、たくさん笑って、元気にすくすく育っています。



渡辺 葉太くん
（平成29年9月27日生・幌延）
お父さん 晴晃さん
お母さん 沙紀さん
葉太はいつもニコニコ、我が家の天使。筋肉質な体で一生涯遊んでいきます。好きな食べ物はいっぱい遊んでいっぱい食べて、元気で強い子になってね。



加藤 流寧ちゃん
（平成29年9月30日生・富岡町）
お父さん 優さん
お母さん 流風さん
わが家の第三子流寧です。ずり這いが大好きでお兄ちゃんお姉ちゃんの後を追って遊んでいます。これからもすくすく育つてね♪

四月定例俳句会作品

- 息吹きたる庭木の艶や雪の果
- 名残り雪手紙一つも書きますか
- 名残り雪そだね領づくカーリング
- 新宿を離る列車に別れ雪
- 大木に縋りつきたる雪の果
- 別れ雪別れて野山取り戻す

幌延ほおずき俳句会

- 横山 貞雄
- 熊谷千恵子
- 富樫 堅一
- 富樫とも子
- 佐藤 光朗
- 田中 徹男



（平成30年4月末日現在）
※（ ）内は前月比

男	1,200	(+10)
女	1,169	(+2)
計	2,369	(+12)
世帯数	1,262	(+18)